

理工学

メディアセンター

ニュース

No.127

SEPT.2009

"Information and Media Center for Science and Technology" Newsletter

9月の開館時間

無印：通常開館 月-金 8:45-21:30 / 土 8:45-20:00

○：短縮開館… 月-金 8:45-19:00 / 土 8:45-18:00

●：閉館

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

* 来月以降の開館予定は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/calendar/>

* 塾内各地区メディアセンターの9月の開館日程は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.lib.keio.ac.jp/schedule/200909.pdf>

目次

お知らせ 2

夏季長期貸出資料の返却期限は 10月2日(金)

ILL (文献複写、図書取寄せ) 一時停止のお知らせ

館内資料の配架場所がかわりました

雑誌の動き 3

コラム 4

『工学のための関数解析』(工学のための数学シリーズ:6)

著作権メモ 47 4

なぜ雑誌の最新号に掲載されている論文は、全てコピーできないのですか?

お知らせ

* 夏季長期貸出資料の返却期限は 10月2日（金）

必ずこの返却期限日までに返却してください。期限を過ぎると1冊につき、1日10円の延滞料がかかります。また、長期貸出資料は1回に限り更新ができます。

(他地区から取り寄せた図書は所蔵地区の貸出規則に従います。)

* ILL（文献複写、図書取寄せ）一時停止のお知らせ

下記資料は、山中資料センター等への移動のため、文献複写および図書取寄せが一時的にご利用できなくなります。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

地区	対象資料	停止期間（複写・取寄とも）	移動先
理工	① 1980年以前発行（別館配架）の雑誌 ② ロシア語図書・製本雑誌（未製本雑誌は除く） ③ 中国語雑誌（未製本雑誌は除く） ④ Lecture Notes in Computer Science ⑤ IEEE Meeting Proceedings ⑥ ACM Meeting Proceedings	2009年9月14日～26日	山中資料センター

※④⑤⑥につきましては電子でご利用いただけます。

他地区メディアセンターにつきましては、以下のような状況になります。

地区	対象資料	停止期間（複写・取寄とも）	移動先
信濃町	1986～1988年発行（地下書庫配架）の雑誌	2009年9月25日～30日	山中資料センター
三田	配架場所が「山中資料センター（三田）」表示の雑誌	2009年8月31日 ～9月16日	日吉保存書庫
日吉	配架場所が ①「山中資料センター（日吉）」表示の洋雑誌 ②「地下書庫」表示の研究室洋雑誌	① 2009年9月4日～11日 ② 2009年9月10日～15日	日吉保存書庫
藤沢	① 購入を中止した洋雑誌 約200タイトル ② 中国語・韓国語雑誌 約24タイトル	未定	①山中資料センター ②白楽

* 館内資料の配架場所がかわりました

以下の資料の配架場所がかわりました。

■レファレンスブック

- ・創想館 1 階に配架されていたレファレンスブックを本館 1 階に移動しました。
- ・1970 年代のレファレンスブックを別館に移動しました。ただし、昨年度の秋学期から実施している利用度調査で利用回数が多かったもの、および内容が有益であるものについては本館に配架しています。
- ・これまでレファレンスブックとして扱っていたハンドブックを一般図書に変更しました。一般図書と同様の貸出が可能になります。

資料をご利用の際には、KOSMOS II OPAC での配架場所の確認をお願いいたします。

■中学・高校教科書

本館 2 階に配架されていた中学・高校教科書を、創想館 1 階に移動しました。

■慶應関係のシラバス・時間割など

本館 1 階レファレンスカウンター横に配架されていた、シラバス、時間割などを、同じく本館 1 階 PC エリア横の低書架に移動しました。

今月も引き続き資料の移動を行います。館内資料配置の最適化に努めますので、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

雑誌の動き

【誌名変更】

- ・学術講演会建築デザイン発表会プログラム / 日本建築学会 2008 年度 (2008) -
(前誌：学術講演会プログラム)

【刊行媒体変更 (冊子 → CD-ROM 刊行)】

- ・情報処理学会研究報告 (CD-ROM) / 情報処理学会 平成 21 年度 1 (2009) -

【廃刊・受入中止】

- ・電子情報サービス / 日本情報処理開発協会データベース振興センター [編] - 2008 年版 (2008)
- ・文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧 / ぎょうせい - 平成 20 年度 (平 20)
- ・Computational linguistics / the Association for Computational Linguistics - v. 34, no. 4 (Dec. 2008)

* 『工学のための関数解析』(工学のための数学シリーズ：6)

山田功著 数理工学社

様々な場面で強力な手法を発揮している関数解析ですが、本書では関数解析の基本的な事項から、情報工学分野での応用が急速に拡大している非線形解析の入り口までを解説し、議論の動機や種々の事項の意味などを詳しく説明しています。「工科系の大学初年級の数学(微分積分と線形代数)」と「数学者が著した関数解析の書物」との大きな溝を埋めるための数少ないテキストとして、読み進めるうちに関数解のセンスが養われ理解が深まるよう編集されています。

本書のシリーズ「工学のための数学」は、1～6を基礎編、7～14を上級編、A-1～A-6を応用編とした位置づけで構成され、各分野で多岐にわたり用いられる数学を、思考の道具として使いこなせるよう体系的に構築されたものとなっています。当館では図書の内容によって分類していますので、それぞれの分野で是非お役立てください。

(請求記号：415.5@Y3@1 配架場所：2F 一般図書)

(図書担当 田中 美枝子)

著作権メモ 47

なぜ雑誌の最新号に掲載されている論文は、全てコピーできないのですか？

著作権法第31条は、図書館内での資料の複写は著作物の一部分まで(半分を超えない範囲)としています。ただし、雑誌等の定期刊行物については、発行後相当期間を経たものは一論文全ての複写が可能としています。ここで“発行後相当期間を経たもの”とは、最新号より前のものとされています。最新号発行後、前の号については通常の販売経路における入手可能な期間が終了し、権利者の利益も損ねないであろうとの考えに基づくものと思われます。

したがって、最新号より前のものに掲載された個々の論文・記事については、全論文・記事をコピーできますが、最新号については半分を超えない範囲でコピー可ということになります。ただし、年刊などは次号までの期間が長いので、権利者(複写権センター)と使用者(大学図書館)との合意により、3ヵ月経ったら相当期間を経過したものと見なしています。

また、同一号に掲載された論文・記事を複数本コピーする場合は、その号の半分を越えないページ数までの複写は可能です。1つの論文・記事だけで1号の半分を超える場合には、その一論文・記事の複写が可能です。

◆発行：慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail : riko-info@lib.keio.ac.jp Home Page : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp>

電子版のご利用はこちら→<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mcnews.html>